

北海道盲導犬協会 新潟県内ユーザー研修会 <報告>

平成23年10月29日(土)、30日(日)に北海道盲導犬協会・新潟県内ユーザー研修会が県内の盲導犬ユーザー9名のほか、市内の視覚に障がいのある方、ボランティアの方など40名が参加して開催されました。

<研修会:29日(土)13:30~16:30>

29日(土)は総合福祉センターで研修会が行われ、講師の北海道盲導犬協会訓練士の松坂郁浩氏より『盲導犬ユーザーと災害』をテーマに講演がありました。松坂氏からは、東日本大震災で被災した岩手県山田町の盲導犬ユーザーの方の避難の様子や避難生活が語られたテープの紹介がありました。中でも印象的だったのは、東日本大震災の際に、多くの盲導犬がその時の状況を感じ取って、普段訓練されていた指定避難所には避難せず、津波被害から難を逃れたというエピソードの紹介がありました。



講演後に行われた質問会&座談会では、盲導犬ユーザーの方々から「盲導犬が来るまでは家の外には出ない生活だったが、盲導犬と出会ってからは登山もするようになり行動的に動くようになった」「盲導犬はマルチロボットやカーナビではないため、困っているときには周りの方々から手を貸してもらいたい」などのエピソードや想いが聞かれました。

最後に市内の視覚に障がいのある方が盲導犬体験歩行を実施しました。実際に体験された方からは、「盲導犬の快適さを体験することができた」という感想が聞かれました。

<交流会:30日(日)9:30~13:30>



30日(日)は、ボランティアの方々盲導犬ユーザーの方々を誘導や案内をしながら、柏崎刈羽原子力発電所サービスホール、十王堂(関町会館)の見学が行われました。参加された方々は、それぞれの場所でスタッフの方が丁寧に説明を熱心に聞いたり積極的に質問をしていました。十王堂では、木喰仏像を入念に触ることができ、盲導犬ユーザーの方からは「木の温もりや細かい技法が感じられた」という感想が聞かれました。

その後、レストランキーウエスト(福浦)に移動して昼食交流会が行われました。また、ボランティアの方々の案内により、盲導犬ユーザーの方々はたくさんのお土産を購入されていました。ボランティアの方々は、10月22日(土)に開催された障がい理解講座(視覚障がい者ガイドボランティア編)に参加して事前学習を行って当日を迎えており、この研修会を企画した市内の盲導犬ユーザーの方は、「ボランティアの皆さんがしっかりとサポートしてくださったおかげで研修会や交流会が成功することができた」と話していました。また、市外から参加された盲導犬ユーザーの方も「ボランティアの皆さんのおかげで今回の研修会が楽しかった」と話していました。一方、ボランティアの方は「初めてのことで自信がなかったが盲導犬ユーザーの方のアドバイスなどがあり、初日は緊張していたが2日目は慣れてきて楽しく過ごすことができた」と話していました。

